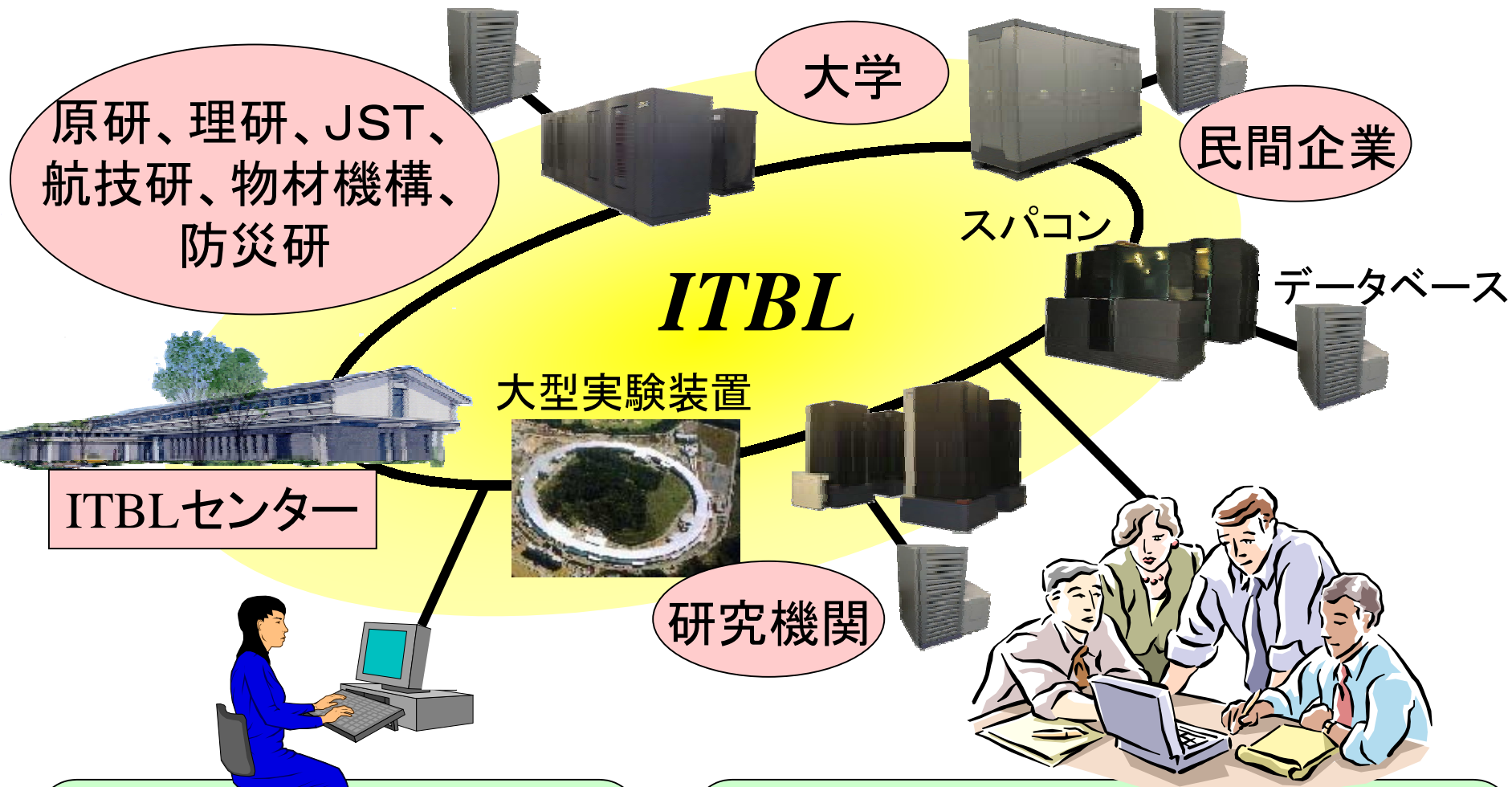


# 新研究スタイルの一般化



## モード1の科学

個別専門分野を深く探求

## モード2の科学

多分野の研究者の相互作用により、  
社会、経済的課題等の解決

# 新研究スタイルのテストベッド

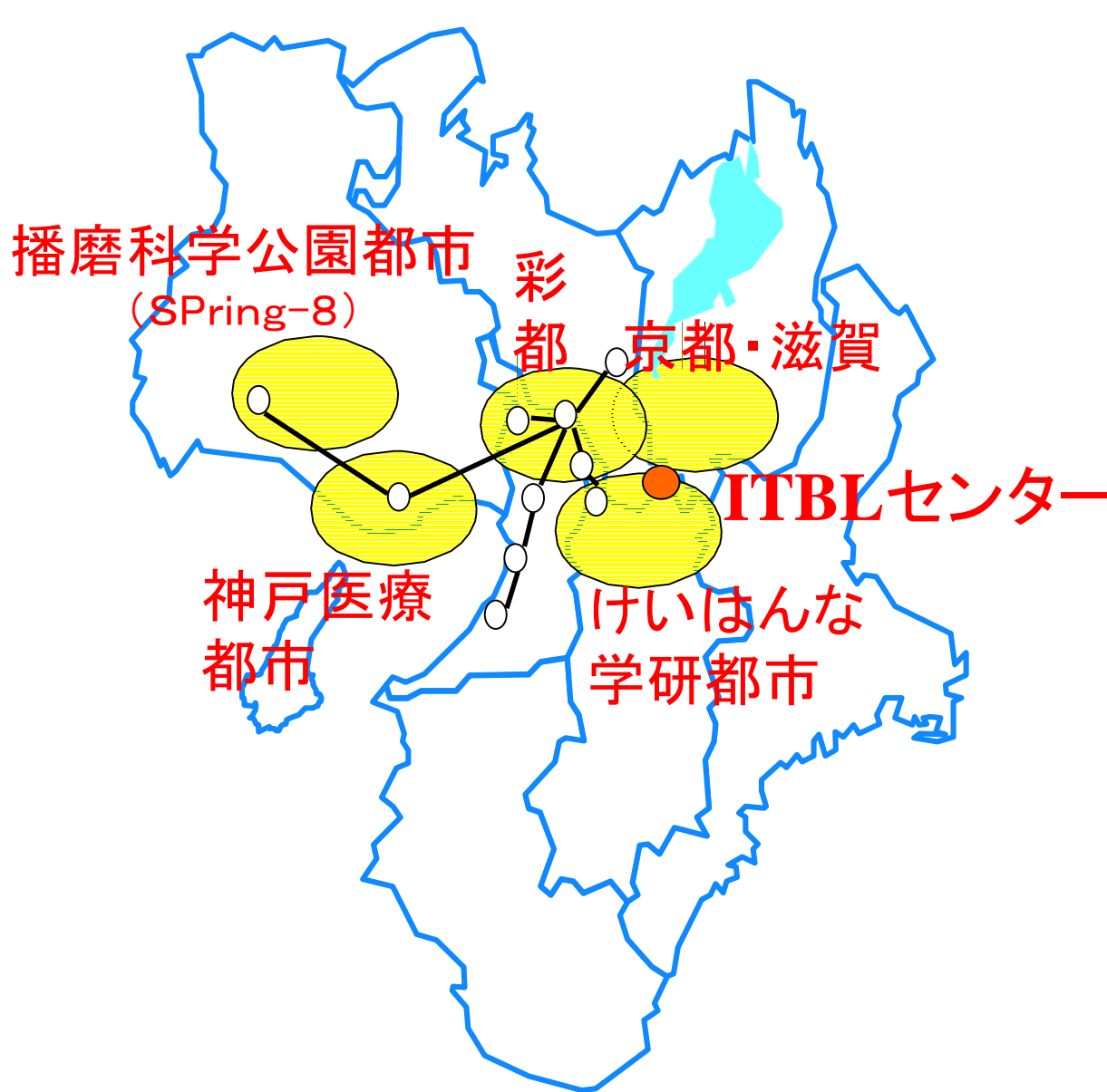


ITBL棟  
(2002年3月竣工予定)



日本原子力研究所  
関西研究所

# 関西圏でのニーズ掘り起こし



バイオ  
(委員会)

物質  
(委員会)

光科学  
(委員会)

原子力  
(委員会)

評価委員会

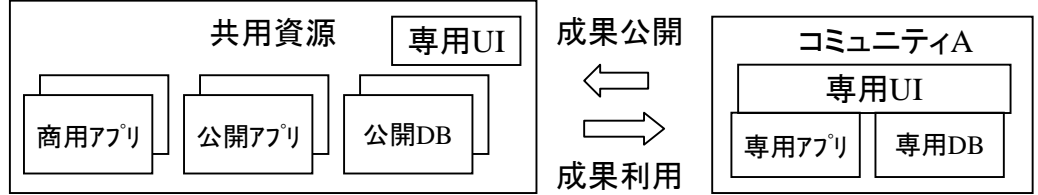
# ITBL基盤ソフトの構成

STA(Seamless Thinking Aid)  
 海外： 7機関  
 国内： 10機関  
 InterCompass:  
 出荷数： 27本

サービス

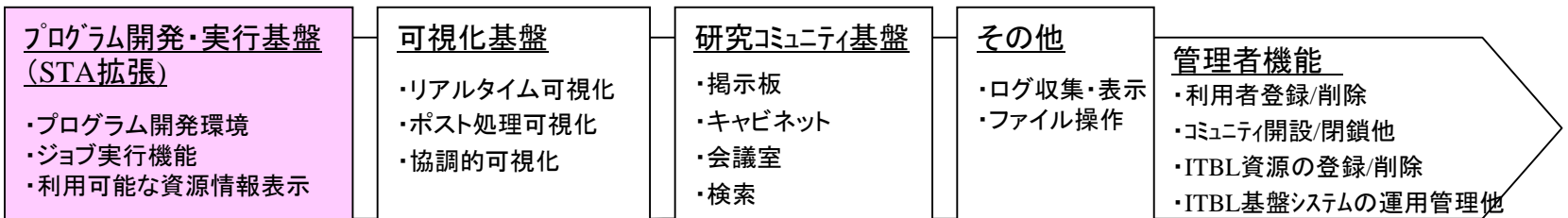
(ポータルサービス)

アプリ



ミドルウェア

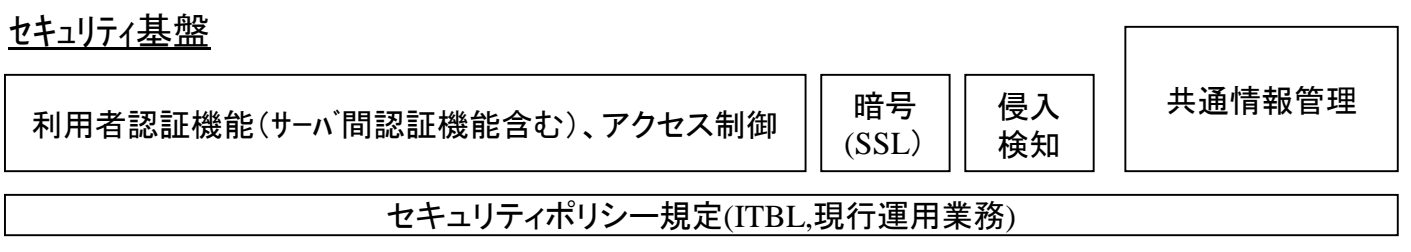
## 各ITBLサイト上の基盤ソフト



機能間連携、サイト間連携

通信基盤 通信制御プログラム、MPI通信ライブラリ等 ( STA通信基盤の拡張・強化 )

セキュリティ



OS  
ハードウェア



## グリッド普及上の問題点

- (1) コンピュータ、データベース等の利用に係る  
会計情報の取り扱い
- (2) 利用体制と利用料金の取り扱い
- (3) 日本の縦割り型の組織体制と研究開発手法
- (4) 研究者・技術者のアイデンティティの問題

## 当面なすべきこと

(イ) 国内的、国際的基準作りへの努力

(ロ) グリッド拠点サイト及び高速回線網の整備

(ハ) 公募予算の増額

(ニ) ネットワーク資源利用料金精算体系の整備